

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年5月24日(2022.5.24)

【公開番号】特開2021-3144(P2021-3144A)

【公開日】令和3年1月14日(2021.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2021-002

【出願番号】特願2019-116927(P2019-116927)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月16日(2022.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

特定識別情報の可変表示を実行し、該特定識別情報の可変表示の結果として特定表示結果が導出されることで遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技制御手段と、

演出制御手段と、

表示手段と、

発光手段と、

音出力手段と、

を備え、

30

前記遊技制御手段は、

始動領域に遊技媒体が進入したときに前記有利状態に制御されるか否かを判定し、

前記特定識別情報の可変表示を実行し、

前記判定の結果に基づいて、前記有利状態に制御される変動パターンである第1変動パターンと、前記有利状態に制御される変動パターンである第2変動パターンと、前記有利状態に制御されない変動パターンである第3変動パターンと、前記有利状態に制御されない変動パターンである第4変動パターンと、を含む複数の変動パターンのうちからいずれかの変動パターンを決定し、

前記第1変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第1コマンドを送信し、

前記第2変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第2コマンドを送信し、

前記第3変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第3コマンドを送信し、

前記第4変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第4コマンドを送信し、

40

前記表示手段は、第1表示領域と、該第1表示領域よりも周縁寄りの第2表示領域と、を含み、

前記演出制御手段は、

前記特定識別情報の可変表示に対応する装飾識別情報の可変表示を前記表示手段を用いて実行可能であり、

所定リーチを前記表示手段を用いて実行可能であり、

特定リーチを前記表示手段を用いて実行可能であり、

前記第1コマンドを受信した場合に、前記所定リーチで前記有利状態に制御されるこ

50

とを報知することが可能であり、

前記第2コマンドを受信した場合に、前記特定リーチで前記有利状態に制御されることを報知することが可能であり、

前記第3コマンドを受信した場合に、前記所定リーチで前記有利状態に制御されないことを報知することが可能であり、

前記第4コマンドを受信した場合に、前記特定リーチで前記有利状態に制御されないことを報知することが可能であり、

前記所定リーチは、

所定演出動画が前記表示手段に表示されるリーチであり、

第1期間と、該第1期間後の第2期間と、該第2期間後の期間であって、演出結果として有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第3期間と、を含み、

前記特定リーチは、

特定演出動画が前記表示手段に表示されるリーチであり、

第4期間と、該第4期間後の第5期間と、該第5期間後の期間であって、演出結果として有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第6期間と、を含み、

前記演出制御手段は、

前記第1コマンドを受信した場合と、前記第2コマンドを受信した場合と、前記第3コマンドを受信した場合と、前記第4コマンドを受信した場合と、において、前記第2表示領域に遊技に関する情報表示を表示可能であり、

前記第1コマンドを受信した場合に、

前記第1期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出態様の前記所定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第2期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出態様の前記所定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第3期間に前記有利状態に制御される旨の第1特殊シーンの前記所定演出動画を第1速度よりも遅い第2速度で前記第1表示領域に表示させることが可能であり、

前記第3期間に前記第2期間まで前記第2表示領域に表示させていた前記情報表示を表示させずに、前記第1表示領域と前記第2表示領域とを用いて前記有利状態に制御される旨の第1特別シーンの前記所定演出動画を表示させることが可能であり、

前記第2コマンドを受信した場合に、

前記第4期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出態様の前記特定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第5期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出態様の前記特定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第6期間に前記有利状態に制御される旨の第2特殊シーンの前記特定演出動画を第1速度よりも遅い第2速度で前記第1表示領域に表示させることができあり、

前記第6期間に前記第5期間まで前記第2表示領域に表示させていた前記情報表示を表示させずに、前記第1表示領域と前記第2表示領域とを用いて前記有利状態に制御される旨の第2特別シーンの前記特定演出動画を表示させることができあり、

前記第3コマンドを受信した場合に、

前記第1期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第2期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第3期間に前記有利状態に制御されない旨の第3特殊シーンの前記所定演出動画を第1速度で前記第1表示領域に表示させることができあり、

前記第3期間に前記第2期間まで前記第2表示領域に表示させていた前記情報表示

10

20

30

40

50

を表示させたまま、前記第1表示領域を用いて前記有利状態に制御されない旨の第3特別シーンの前記所定演出動画を表示させることが可能であり、

前記第4コマンドを受信した場合に、

前記第4期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出様の前記特定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第5期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出様の前記特定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第6期間に前記有利状態に制御されない旨の第4特殊シーンの前記特定演出動画を第1速度で前記第1表示領域に表示させることができあり、

10

前記第6期間に前記第5期間まで前記第2表示領域に表示させていた前記情報表示を表示させたまま、前記第1表示領域を用いて前記有利状態に制御されない旨の第4特別シーンの前記特定演出動画を表示させることができる、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

特定識別情報の可変表示を実行し、該特定識別情報の可変表示の結果として特定表示結果が導出されることで遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

20

遊技制御手段と、

演出制御手段と、

表示手段と、

発光手段と、

音出力手段と、

を備え、

前記遊技制御手段は、

前駆領域に遊技媒体が進入したときに前記有利状態に制御されるか否かを判定し、

30

前記特定識別情報の可変表示を実行し、

前記判定の結果に基づいて、前記有利状態に制御される変動パターンである第1変動パターンと、前記有利状態に制御される変動パターンである第2変動パターンと、前記有利状態に制御されない変動パターンである第3変動パターンと、前記有利状態に制御されない変動パターンである第4変動パターンと、を含む複数の変動パターンのうちからいずれかの変動パターンを決定し、

40

前記第1変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第1コマンドを送信し、

前記第2変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第2コマンドを送信し、

前記第3変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第3コマンドを送信し、

前記第4変動パターンを決定したときに、前記演出制御手段に第4コマンドを送信し、

前記表示手段は、第1表示領域と、該第1表示領域よりも周縁寄りの第2表示領域と、を含み、

前記演出制御手段は、

前記特定識別情報の可変表示に対応する装飾識別情報の可変表示を前記表示手段を用いて実行可能であり、

所定リーチを前記表示手段を用いて実行可能であり、

特定リーチを前記表示手段を用いて実行可能であり、

前記第1コマンドを受信した場合に、前記所定リーチで前記有利状態に制御されることを報知することが可能であり、

前記第2コマンドを受信した場合に、前記特定リーチで前記有利状態に制御されことを報知することが可能であり、

50

前記第3コマンドを受信した場合に、前記所定リーチで前記有利状態に制御されないことを報知することが可能であり、

前記第4コマンドを受信した場合に、前記特定リーチで前記有利状態に制御されないことを報知することが可能であり、

前記所定リーチは、

所定演出動画が前記表示手段に表示されるリーチであり、

第1期間と、該第1期間後の第2期間と、該第2期間後の期間であって、演出結果として有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第3期間と、を含み、

前記特定リーチは、

特定演出動画が前記表示手段に表示されるリーチであり、

10

第4期間と、該第4期間後の第5期間と、該第5期間後の期間であって、演出結果として有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第6期間と、を含み、

前記演出制御手段は、

前記第1コマンドを受信した場合と、前記第2コマンドを受信した場合と、前記第3コマンドを受信した場合と、前記第4コマンドを受信した場合と、において、前記第2表示領域に遊技に関する情報表示を表示可能であり、

前記第1コマンドを受信した場合に、

前記第1期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出態様の前記所定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

20

前記第2期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出態様の前記所定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第3期間に前記有利状態に制御される旨の第1特殊シーンの前記所定演出動画を第1速度よりも遅い第2速度で前記第1表示領域に表示させることが可能であり、

前記第3期間に前記第2期間まで前記第2表示領域に表示させていた前記情報表示を表示させずに、前記第1表示領域と前記第2表示領域とを用いて前記有利状態に制御される旨の第1特別シーンの前記所定演出動画を表示させることが可能であり、

前記第2コマンドを受信した場合に、

前記第4期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出態様の前記特定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

30

前記第5期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出態様の前記特定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第6期間に前記有利状態に制御される旨の第2特殊シーンの前記特定演出動画を第1速度よりも遅い第2速度で前記第1表示領域に表示させることができあり、

前記第6期間に前記第5期間まで前記第2表示領域に表示させていた前記情報表示を表示させずに、前記第1表示領域と前記第2表示領域とを用いて前記有利状態に制御される旨の第2特別シーンの前記特定演出動画を表示させることができあり、

前記第3コマンドを受信した場合に、

前記第1期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

40

前記第2期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第3期間に前記有利状態に制御されない旨の第3特殊シーンの前記所定演出動画を第1速度で前記第1表示領域に表示させることができあり、

前記第3期間に前記第2期間まで前記第2表示領域に表示させていた前記情報表示を表示させたまま、前記第1表示領域を用いて前記有利状態に制御されない旨の第3特別シーンの前記所定演出動画を表示させることができあり、

前記第4コマンドを受信した場合に、

50

前記第4期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出様態の前記特定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第5期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出様態の前記特定演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第6期間に前記有利状態に制御されない旨の第4特殊シーンの前記特定演出動画を第1速度で前記第1表示領域に表示させることが可能であり、

前記第6期間に前記第5期間まで前記第2表示領域に表示させていた前記情報表示を表示させたまま、前記第1表示領域を用いて前記有利状態に制御されない旨の第4特別シーンの前記特定演出動画を表示させることが可能である。

対応図面：図10-30(C)、図10-30(D)、図10-30(G)、図10-30(H)、図10-35(B)、図10-35(C)、図10-35(F)

10

20

30

40

50